



同志社小学校
Doshisha Elementary School



同志社小学校

Doshisha Elementary School
〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町 89-1
TEL:075-706-7786 FAX:075-712-2312
www.doshisha-ele.ed.jp



えらい人になるよりも

Doshisha

ELEMENTARY SCHOOL 2025

よい人間になりたいな



「えらい人になるよりも
よい人間になりたいな」



同志社小学校校歌

谷川俊太郎 作詞 / 大中恩 作曲

かんじる ゆめみる といかける
ころは ふしぎな
おおきなへや

もりのみどり うみのあおへと
どこまでも すきとおる

せかいは とってもうつくしい

かんじる つたえる おもいやる
からだは やさしい
ちいさなうちゅう

ひとのいたみ かなしみみつめ
ほほえんで てをつなぐ

あすをねがって いのるきょう

えらいひとに なるよりも
よいにんげんになりたいな

どうししゃしょうの
わたしたち



目次



同志社小学校校歌	1	教育環境	15	年間行事	24
教育の柱	3	授業紹介	17	同志社の一貫教育	25
同志社の教育理念	5	理科教育	19	連携プログラム	26
道草教育「学ぶって楽しい！」を知ろう	7	ICT教育	20	卒業生からのメッセージ	27
「道草の先」にある自分だけの新発見	9	特別授業・課外活動	21	ご挨拶	29
国際交流	13	1日の流れ	23	学校制成品/交通アクセス	29

同志社小学校が大切にしている

3つの教育の柱

謙虚であり、自由な存在でありつつも、正しく判断し
内なる声としての「良心」に従い、自分を律して行動する。

このことは、とても難しいことですが、

同志社小学校が大切にしていることです。

その内側から出てくる「良心」を、

さまざまな日常の活動や学びから

身につけてほしいと願っています。

それこそが、本当の意味での「えらい人」、

すなわち、「よい人間」に近づく道筋なのです。

教育の柱

1

見えないものを感じる時間

キリスト教主義 **良心の涵養**

内なる声（良心）が示す真正の自由に基づいた生き方を



毎日の礼拝
Worship Service

毎日の礼拝では、教員が交代で話をし、その中で、一人ひとりが自分を見つめつつ、他者のことを思いやりながら祈る時をもちます。また、毎月の誕生者祝福では、生かされていることへの感謝の時をもちます。



宗教の時間
Religion Class

聖書の舞台は、場所においても時間においても距離があります。それを、いかに身近なものにできるかというところに心を配っています。生き方の羅針盤として、聖書の持つメッセージを理解し、実践できる人になってほしいと願っています。



宗教行事
Religious Ceremony

花の日礼拝や収穫感謝礼拝などでは、自分たちの生活は、誰かに支えられているということを理解し、感謝の気持ちを大切にしています。クリスマスでは、身のまわり、また世界の共に生きる仲間を意識し、感謝のしるしとして、献げ物をします。

教育の柱

2

自ら考え、行動する

自由主義 **自治自立の精神**

一人ひとりが自ら考え行動する姿勢を育む学びの機会を



ワイルドローバー(異年齢)活動
共生の精神を育む

全校児童が力を合わせ、清掃、スポーツフェスティバル、遠足などの活動を行います。学年の枠を超えたさまざまな活動を通して、思いやりの心や協調性を育みます。



交流活動
人や社会とふれあいながら学ぶ

本物と出会う時間や社会とつながる学びを大切にしています。他校との交流や、地域の自然や文化にふれる体験学習など、多彩な教育プログラムの用意をしています。



探究活動
主体的に学ぶ姿勢を養う

知的好奇心を高める機会として、さまざまな施設や研究機関と連携した学習を実施しています。研究活動やフィールドワークを通して、主体的に学ぶ姿勢や自分の考えを発信する力を育みます。

教育の柱

3

世界を知り、体験する

国際主義 **国際人の育成**

違いを超えて、つながりあう喜びを



言葉
伝える喜びを知る

世界に目を向け、「伝えたい」という思いを大切に、「通じた」という喜びを感じられる授業を行っています。バラエティーに富んだ体験を通して、意欲的に学ぶ姿勢を育みます。



文化
違いを認め、視野を広げる

言語の背景にある文化的側面に向けた交流を展開しています。外国からのゲストを招いて、くらしや考え方の違いについて学ぶなど、本物の国際感覚を身につけます。



ICT
総合的な学力を磨く

さまざまなアプリケーション等を利用し、総合的な学力の向上を目指します。また、ネット環境を活用した海外の学校との交流を通して、世界を身近に感じることができま

同志社の教育理念 受け継がれる同志社の精神

新島襄と同志社にゆかりの深い人たち

同志社小学校のクラス名は、これら3人の名前にちなんでつけられています。

Davis

ジェローム・ディーン・デイヴィス
(1838 ~ 1910)
同志社英学校初代教員



Hardy

アルフォーアス・ハーディー
(1815 ~ 1887)
新島襄を支えたアメリカの父



Learned

ドワイト・ウィットニー・ラーネッド
(1848 ~ 1943)
同志社大学の基礎をつかった人物



同志社の創立者

新島 襄

Joseph Hardy Neesima
(1843 - 1890)

同志社は1875年(明治8年)新島襄によってキリスト教主義・自由主義・国際主義の精神を礎に創立されました。「一国の良心ともいべき人物を育成する」ことが新島襄の願いです。キリスト教を徳育の基本として、知育、体育にもすぐれ、良心を手腕に運用する個性豊かな人々を世に送り出そうと努めたのです。新島襄は教育宣言の中で、『一国の良心』について次のように述べています。

「一国を維持するのは、決して二、三の英雄の力ではない。実に一国を形成する、教育があり、知識があり、品性の高い人たちの力によらなければならない。これらの人たちは『一国の良心』と言ふべき人たちである。そして私たちはこの『一国の良心』[良心の全身に充滿したる丈夫(ますらお)]ともいふべき人々を養成したいと思う。」

新島襄は一つの私立学校の創立者であったばかりでなく、明治という日本近代化の流れの中でキリスト教精神に基づいた指導的な思想家でした。

彼の教えを受け継いだ数々の教育者たちの手によって、人間の根幹たるものを育もうとする「同志社スピリット」とも呼ぶべき、独自の教育理念が確立されていきました。新島が理想としたこの教育理念は、149年を経た現代社会においても、色褪せるところかまますその重要性を増しています。



良心教育を目指して 良心碑

「良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起リ来ラン事ヲ」

良心を手腕に運用する人物、一国の良心ともいべき人物を輩出したいという、新島の教育理念を表明した、同志社教育のシンボルです。

スクール・カラーは、Purple&White(紫と白)の2色です。紫はロイヤル・パープルで日本の古代紫と江戸紫の中間色に相当します。創立者新島襄が学んだ米国アモスト大学のスクール・カラーと同色です。



道草教育

「学んで楽しい!」を知ろう

同志社小学校では、子どもたち一人ひとりの自由な発想を大切に、学ぶことそのものを楽しみながら理解を深めていくことができるような教育を日々心がけています。それは与えられる学びではなく、自ら答えを導き出す学びであり、その答えにいたる過程や思考のプロセスを大切にしたい学びです。開校以来、私たちが実践してきた道草教育には、「学ぶことは楽しい!」と実感できる仕掛けがたくさんつまっています。

学校の外も 学びのフィールド

社会に目を向けるとそこにはたくさんの知恵や技術がある。学びは、決して教室の中だけにだけあるのではない。

仲間と共に学ぶ

自分だけでは限界があることも互いの協力で世界が開ける。それぞれの良さを生かす。

テーマは 自分の興味から

見たい、聞きたい、やってみたい! 一人ひとりの好奇心を出発点に、とことん探究する楽しさを味わう。

本物から学ぶ

さまざまな研究機関とつながり専門知識と出あい実際の体験から学びを深める。

学ぶ力を 育てる 仕組み

自分らしく
未来を
ひらく人へ

未来へ続く学び

小学校での学びは決して小学校で終わるものではない。そこから始まる未来への助走となる。

「考える」から
「わかる」へ

「なぜ」と問いかけ自分で考え抜き本当の理解につながる経験をする。

自分らしさを
伸ばす

それぞれが良さを認め合えば唯一無二である自分の存在を、自分らしさを大切にできる。

伝える喜び

自分の考えていることをどうやって人に伝えるのか。わかってもらえた喜びを感じる。

主体的な
学びが
もたらすもの

学ぶことを学ぶ

学ぶ価値を見つけ出し、感性をみがき、受け身ではなく自発的に、情熱をもって学びに向かう。

Message

「人」を育てる学び

学校教諭 南 大我

校祖・新島襄は「良心の全身に充滿したる丈夫の起り来らん事を」(良心が全身に充滿した青年が現れることを望んでやまない)という言葉を残しています。これこそが本校の「道草教育」の根っことなるものであり、目指す子ども像です。どんな知識も、良心を心根として振るわなければ、世のため人のためになり得ません。だからこそ日々の授業では、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を大切に、子どもたちを良心溢れる「人」として育てることを目指しています。そのような学びは、一人ひとり違う個性をもった子どもたちとの協働の中でこそ実現します。オンラインやオンデマンドなど便利で効率的な学びが溢れるこの時代において、同志社小学校が掲げる「道草教育」では、「学校で学ぶことの価値」を実感できることと確信しています。

「道草の先」にある自分だけの新発見

道草研究では、子どもたちが選んだテーマに沿って研究し、多様な表現活動に取り組みます。学びの過程において子どもたち一人ひとりに寄り添い、子どもたち自らが主体となって行動しようとする芽を見逃すことなくサポートします。



道草発表会

各学年ごとに共通のテーマに沿って、道草研究やプロジェクト活動に取り組み、その成果を発表します。

SDGs 道草×SDGs=世界の問題を自分ごととして考える

DES脱プラ お菓子キャンペーン



オンライン打ち合わせ

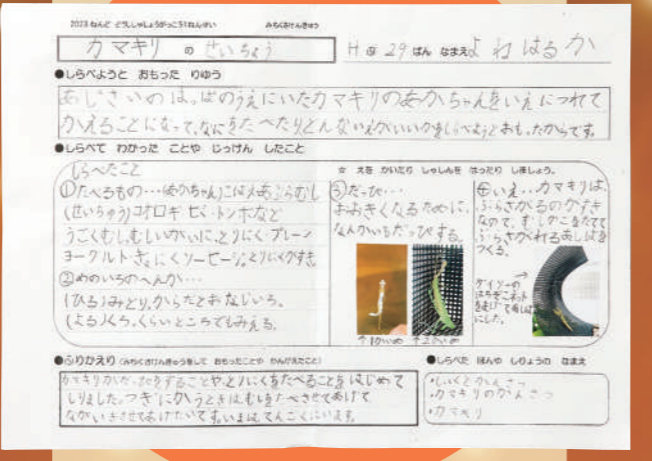


持参した容器に量り売り



カマキリの成長

カマキリを育てるために、エサや巣について調べました。百貨で買ったネットで巣を作るなど、たくさん工夫をした様子が分かります。何回も脱皮することなど、細かく観察されています。



アジサイの葉っぱの上にいるカマキリの赤ちゃんを育ててきました。カマキリのご飯は、本当は生きた虫がいいのですが、虫を取るのが難しかったため、鶏肉をあげました。がんばったことは、虫かごの中にカマキリの家を作ったことです。赤ちゃんから育てたので、かわいくて大好きな昆虫になりました。



カマキリを赤ちゃんから育てました

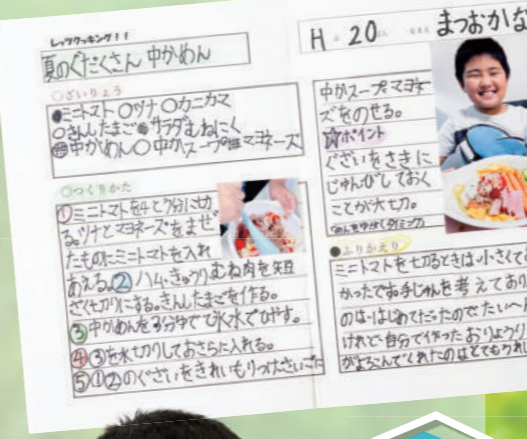
1年 米 碧香

夏の具たくさん中華めん



手順を考えて料理することは初めてだったそう。おいしそうな中華めんが完成しましたね。

調べた作り方をレシピの形にして、分かりやすくまとめられています。



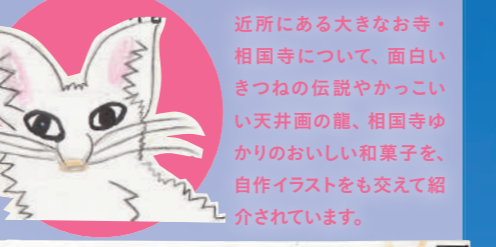
自分の料理で家族がよろこんでくれました



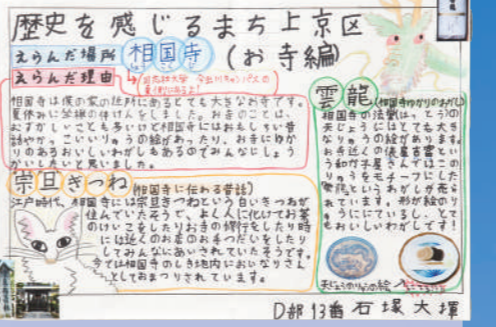
2年 松岡 奈央

料理の作り方を知りたくて、調べようと思いました。夏で暑かったので冷たいものを作りたいと思い、中華めんにしました。材料を切ることや、具材をお皿に盛り付けることをがんばりました。めんをゆがくタイミングが難しかったですが、料理の作り方が分かってよかったです。

歴史を感じるまち上京区(お寺編)相国寺



近所にある大きなお寺・相国寺について、面白いきつねの伝説やカッコいい天井画の題、相国寺ゆかりのかわいい和菓子を、自作イラストをも交えて紹介されています。



お寺の魅力をみんなに知ってほしいです



3年 いしづか 大輝

相国寺は家の近所にあるお寺です。夏休みの坐禅体験が印象に残ったので、調べようと思いました。お寺は難しいことが多かったですが、みんなに興味を持ってもらうために、カッコいい! おもしろい! と思ったことを書きました。絵もがんばって描いたので、お寺の楽しい一面が伝わるといいなと思います。



広島えがお新聞



平和記念公園の記事を中心に、広島県の歴史や特産品がまとめられています。それは、世界で戦争が起こっている今だからこそ知りたいという思いから。新聞の名前には「みんなが笑顔で過ごせる世界に」という願いが込められているそうです。



世界の平和について一緒に考えてほしい

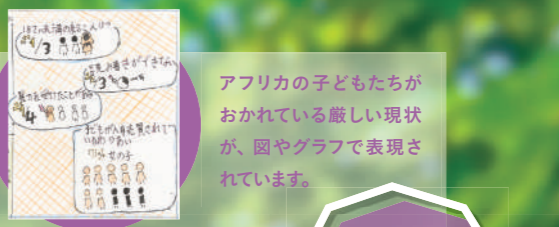
4年

山田 莉奈

戦争は遠い国のことだと思っていましたが、日本でもかつて戦争があったことを授業で学びました。私も世界の平和のためにできることを考えてみて、8月6日に広島県の平和記念資料館へ行きました。この新聞を読んだ人が、一緒に平和について考えてくれたらいいなと願いながら書きました。



アフリカの人たちに学校教育を



アフリカの子供たちがおかれている厳しい現状が、図やグラフで表現されています。



学校へ行けない子どもたちを支援していきたいです

5年 さとう 莉奈

読み書き、食料、戦争などの課題を持つ国に、アフリカの国々が多いことに疑問を持ち、どんな問題があるか調べました。すると、アフリカでは286万人の子供たちが5歳まで生きられないということを知り、とても驚きました。こうした状況をもっと学んで、いろんな人に広めていきたいです。



貧困によって学校に行けない子どもたちや女子への差別的な文化などを調査。その支援方法について、自分なりにしっかりと考えられています。

マイクロプラスチックと海洋汚染



今大きな問題になっている海の環境汚染について考えました

6年

河内 涼

5年生の時に海洋汚染について勉強し、海の生き物がゴミをエサと間違えて食べてしまうこと、このままだと海は魚よりもゴミのほうが多くなることに驚き、調べようと思いました。今回調べてみて、海の現状についてさらに知ることができ、MSC認証の取り組みなども分かり、とてもよかったです。



世界的な課題となっているマイクロプラスチックについて調査。汚染が進む現状と、解決に向けたさまざまな取り組みを知り、自分たちにできることも紹介されています。



国際交流

さまざまな人との出会いを通じて異文化交流を大切にしてきた同志社小学校には、1年を通して世界の人々とつながる機会がたくさんあります。



英語大会 暗唱大会・プレゼンテーション大会

同志社法人内全学校からの代表者が参加する英語大会(立石杯)は年に2回開催され、小学校の校内英語大会から選出された児童が発表をしています。英語での暗唱やプレゼンテーションをするよい機会となっています。



国際理解

協定校との交流に加え、世界のさまざまな状況にある子どもたちのことを考える意味でも、毎年クリスマスにフィリピン・ミンダナオに支援物資(文房具や衣服等)を送っています。



※新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえて、児童の安心・安全を確保した内容での実施を検討しています。



海外の協力校・交流校

台湾

台東大学附属小学校

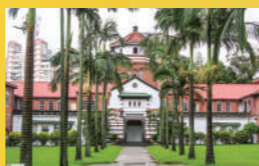
1895年創立 国立台東大学の附属小学校
1300名からなる大規模校で、環境教育や地域文化教育の相互理解に向けての交流を行っています。日本からの距離も近く、さまざまな交流の形を模索しています。



淡江高級中学附属純徳小学校

1914年創立 台湾最初の私立神学校の附属小学校

淡江高級中学はかつては多くの日本人が学び、また同志社へ留学した台湾の学生もたくさんいました。2007年に授業の50パーセントを英語で行う附属小学校を開校。キリスト教主義の学校との友好を深めています。



アメリカ

Mater Dolorosa Elementary School

1896年創立 アメリカ マサチューセッツ州



6年生の修学旅行時に訪問し数年にわたって交流を続けています。授業への参加、日本や同志社小学校について紹介するための発表を行っています。

オーストラリア

St. Joseph's Primary School

1851年創立 オーストラリア ヴィクトリア州
私立のカトリック学校。ヴィクトリア州は、日本語教育に熱心で、日本語の講座も開講されています。相互に学校を訪問したり、Skypeを用いた授業を行ったりして交流を続けています。



St Patrick's Parish Primary School Port Fairy

1849年創立 オーストラリア ヴィクトリア州
児童数約200名の私立のカトリック学校。6年生の短期留学先として、児童が授業参加したり、ホームステイをしたりするなど交流を実施しています。



海外の協力校・交流校より

ヴィクトリア州 ワーナムブル セントジョセフ小学校は、同志社小学校を協定校として歩めたことを大変幸運に感じています。私たちは、お互いに大切な友人をつくることのできた児童が感じることのできる特別な関係築いてきました。学校教育の早い段階で国際的な関係をつくることの重要性は言うまでもありません。本校の児童は同志社の子とオンラインでつながり、自分たちが関心を持っていることをシェアすることをいつも楽しみにしています。学んでいる日本語を試したり、日本について知ることも喜びを感じています。教員として同志社小学校の教職員との関係性を大切に思っていますし、私たちは素晴らしい友情を長年にわたって築いてきました。過去に実施してきたように、また、お互いの学校を訪問できる日を楽しみにしています。これからもどうぞよろしく。

St. Joseph's Primary School in Warrnambool, Victoria, Australia has been so fortunate to have Doshisha Elementary School as a Friendship School. We have a special relationship in which our students feel that they have made good friends with each other. We value the importance of strong international relationships forged during the early years of schooling. Our students look forward to meeting Doshisha students online, and writing to them to share their interests. Our students enjoy practicing their Japanese language skills and learning more about Japan. As a teacher I value the relationship with the Doshisha staff and have built wonderful friendships over the years. Just as we have done in the past, we look forward to visiting each other again, when we are able to. Our kindest regards,

Catherine Lee



(写真 中列 右)

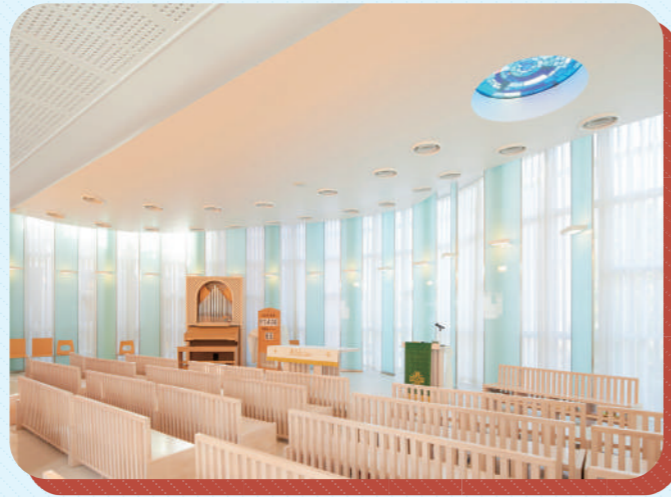
教育環境

開放感あふれる校舎が、子どもたちの自由な創造性やコミュニケーション能力を育みます。

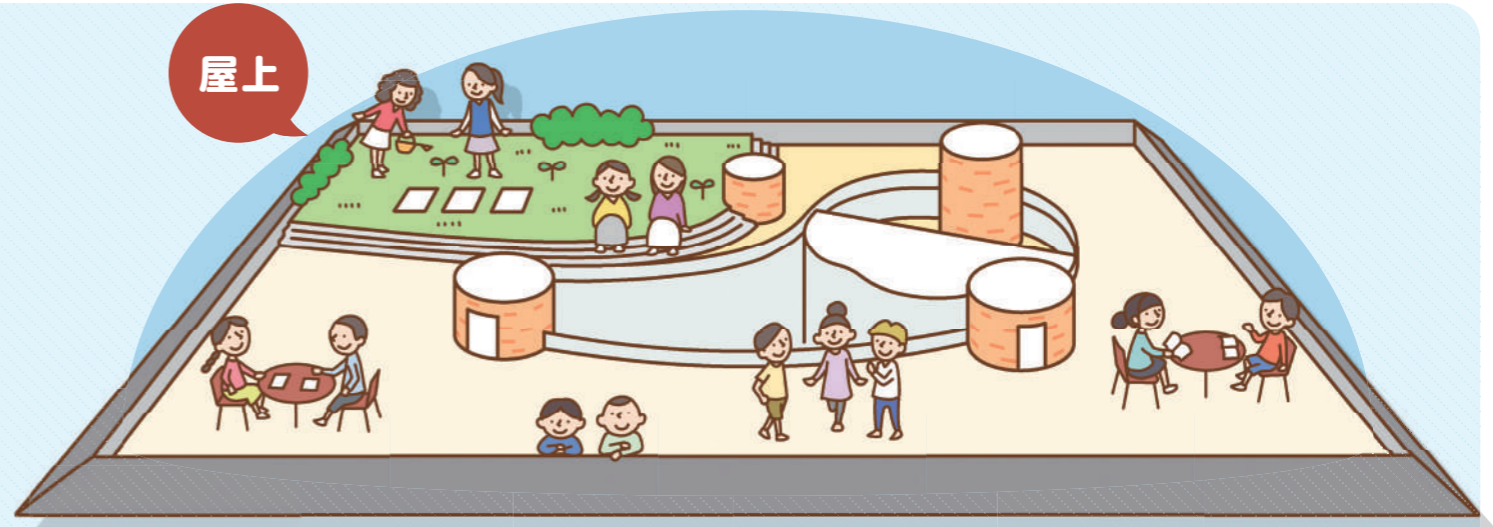
設計コンセプト One Room School

「ワンルーム スクール」というコンセプトのもと設計された同志社小学校の校舎。どこにいても複数の教室が見渡せる造りは安全面に優れているだけではなく、教育の柱の一つである自由主義も象徴しています。クラスや学年を超えた活発なコミュニケーションを実現できる環境の中で子どもたちは多様な価値観や感性にふれながらのびやかに成長することができるのです。

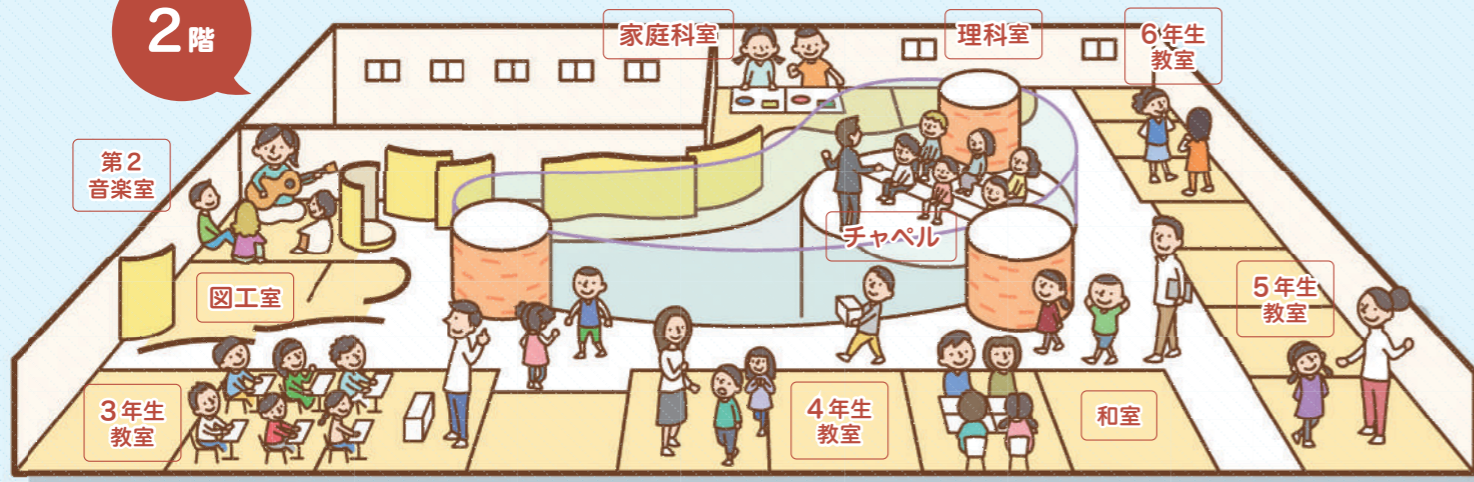
チャペル 天井にはキラキラ光り輝くステンドグラス！



屋上



2階



チャペルコート 校舎の中央に位置する共有スペース



森の道 並木沿いには、小さなヒミツのこみちアリ!!



図書室 まるい図書室には読みたい本がいっぱい



1階



グラウンド 友達と一緒に過ごす休み時間が楽しみ!



教室



オープンスペース



家庭科室



理科室



和室



アリーナ



国語

言葉の持つ価値を実感し、活用する

言葉の価値を見出し、その価値を体験的に学び取り、実感することのできる学習過程を大切にしています。実感としてつかみ取った言葉の価値は、さまざまな教科の学びにおいて目一杯活用され、子どもたちの学びを支えています。

社会に関心を持ち、自分ができることを考える

現代社会を生きる子どもたちには、広い視野を持ち、人や社会のために、良心をもとに正しく判断する力が大切です。自分に「何ができるか」を伝え合い、提案する力を養うため、社会のさまざまな事象について真剣に考える体験型学習の機会を数多く設けています。

社会



英語

英語でおもいを伝え、世界を学ぶ楽しさを実感する

思いやりの心をもったコミュニケーションを通して、文化、宗教、習慣の違いを互いに認め合うことができるような国際感覚を養います。留学生や協定校と国際交流をしたりする中で、世界中の人々との繋がりによる多種多様な学びを実現しています。

理科



衣・食・住の体験的な学びを通して、生活を豊かに

子どもたち一人ひとりの五感を大切にして、仲間との対話を進めながら学んでいきます。常に良心をその基底に置き、互いが関わり獲得した学び・気づき・発見により、子どもたちが、家庭の生活をより豊かにすることを目指しています。

家庭科



算数



子どもたちの感性を大切に、楽しみながら深く学ぶ

身の回りの形や自然界の事象に不思議な美しさを感じるのは、そこに潜む数学的な規則性のためです。算数科では、数量や図形の基礎を知ること始まり、多様な考え方にふれることにより、豊かな思考力を身につけ、数学的概念の深い学びを大切にしています。

授業紹介

教育の特徴

一人ひとりのものの見方や考え方を尊重し、お互いの良い所を見つけ合うような学習スタイル

子どもの内なる興味・関心や疑問を、本物との出会いや体験、友だちとの関わり合い、伝え合いを通して、心の底からの「わかる!」につなげていく、そんなプロセスを大切に授業に取り組んでいます。新しいことを知ったり、身につけたりしたときの子どもの表情は、エネルギーや意欲に満ち溢れています。教え込みやドリル学習だけでは、そのような姿を見ることはできません。本当に「知りたい」ことを追究し、紆余曲折を経て答えにたどり着いたという経験や、友だちとの関わり合いの中で、知恵や力をふり絞ってやり遂げたという経験こそが、学びの醍醐味であり、楽しさだと考えています。

時間割

		1年生の時間割 (例)					6年生の時間割 (例)				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
朝		礼拝 (8:30)					朝 礼拝 (8:30)				
1	図工	体育	国語	国語	算数	1	算数	社会	音楽	英語	算数
2		音楽	体育	ことば	英語	2	国語	算数	算数	書写	国語
3	英語	英語	算数	算数	宗教	3	図工	家庭科	体育	理科	道草
4	算数	書写	ことば	体育	国語	4		理科	理科	国語	
5	国語		道草	道草	道草	5	社会	体育	クラブ活動	国語	英語
6	道草	国語		音楽	道草	6	体育	英語	クラブ・委員会活動	社会	音楽
7						7	道草	国語		算数	宗教

※隔週で家庭科とクラブ活動の1時間が「道草」になります。

音楽



「楽しくないや学べない」

思うままに音楽を感じ、自然に音楽の世界に浸れるような場づくりを心掛けています。音符を読ませるのではなく、読んでみたいと思うような場。歌わせるのではなく、歌ってみたいと思うような場。安心して音楽と関わることで、自分らしい音楽を見つけてほしいと思っています。

図画工作



人と違うからこそ面白い、自分を知り表現する

感性から生まれたおもしろいを具現化させるために工夫し、色々な方法を試してみる中で、「世界に一つだけ」の作品が生み出されます。作品をつくり出す過程や完成した作品によって、自分のおもしろいを見つけ、発見し、自分らしく表現することを大切にしています。

体育



基本的な身体能力を磨くことで生まれる高いコミュニケーション能力

授業はもちろん、行事や課外活動を通じて、基本的な身体能力を磨き、身体を動かす中でコミュニケーション能力を育成します。一人ひとり違った個性や感性を大切にしながら自然に身体を動かすことが大好きになる…そんな思いやりのある心を育てます。

道草教育



▶ Pick UP ▶ 詳細はP9を参照

理 科 研 究

自ら発見した自然界の不思議を探求することで、科学的思考力や問題解決力を育みます。



地球環境にやさしい
食べられる器を
作りました

6年 原田 直和さん



SDGsの勉強で、プラスチック食器はゴミ捨てされると土に戻るのに500年かかることを知りました。そこで、環境にやさしい食べられる器を作ろうと思い、和菓子屋の七條甘春堂さんに作り方を教えてもらいました。砂糖は昔の人が見つけた天然の防腐剤で、砂糖を使うと腐らなくなるそうです。

最初は材料を入れる順番をまちがえて失敗しました。原因は、寒梅粉より先に上白糖を入れてしまったからです。料理の「さしすせそ」のように、分子が小さい順に混ぜないと分子が結びつかず、なめらかな生地ができないのです。二度目は混ぜる順番とタイミングを考えながら作り、成功しました。お皿にラップを敷いて、生地を伸ばすときれいな形に仕上がりました。失敗の原因を探るのは大変でしたが、新しい発見ができてうれしかったです。

食べられる食器が増えれば、ゴミが減り、二酸化炭素も少なくなります。地球環境のためにこの取り組みを広めて、世界に発信していきたいです。



空を飛ぶ羽毛恐竜がいたことを知り、飛ぶ機能も備えた復元模型作りにチャレンジしました。まず、何種類かの羽毛恐竜の中から、後ろ足にも翼がある珍しい姿のマイクロプトルを選びました。羽毛は黒で、光の当たり方によっては玉虫色に輝いたそうです。図鑑で調べたところ、鳥と違って羽根をはばたかせることができなかったため、木から木へ滑空していたことがわかりました。そこで、飛行機のおもちゃを買ってきて、飛ぶ仕組みを調べ、参考にしながら模型を試作しました。最初はまったく飛びませんでしたが、羽の大きさや重さ、前後左右のバランスなど、工夫を重ねていくつも試作した結果、飛ぶためには重心が命だということがわかりました。黒い羽をつけ、ミラーパウダーやスプレーをかけて玉虫色に光らせた試作機が、すうっと空を飛んだときは本当にうれしかったです。次は始祖鳥との違いを調べて、どのようにして鳥へと進化したのか、解き明かしたいです。



羽毛恐竜マイクロプトルの
空飛ぶ復元模型を
作りました

6年 井上 翠さん



ブラックホールに
星が飲み込まれる瞬間を
再現しました

3年 山本 明希さん



動画でブラックホールに星が飲み込まれる瞬間を見て、みんなにもそのすごさを知ってほしいと思い、工作しました。

小さなボールを星に見立てて、円を描いて転がりながら穴に吸い込まれていく様子を表すために、料理用のボウルを使うことにしました。ボウルの底に穴を開け、内側にブラックミラーシートとセンサー付きLEDテープを貼りました。できるだけ長くボールが回っていられるように、LEDテープを貼る場所を変えて工夫しました。次に、プラ板をふたとして取りつけたダンボールを重ね、ラップの芯をセットしてボールの入口を作りました。ちょうどよい角度に固定するのは難しく、大変でした。最後に、プラダンを組み合わせて、装置の外側を囲みました。黒いプラダンに、絵の具やカラーズプレーで絵を描き、惑星を作って貼ると、宇宙っぽくなってうれしかったです。

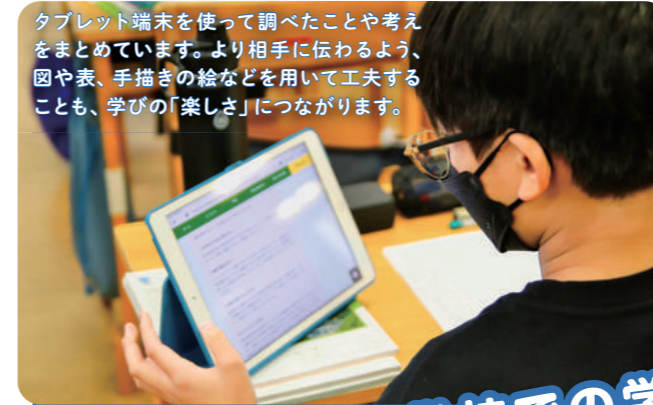
NASAが映像化したブラックホールの動画を見て、ブラックホールについてもっと知りたくなりました。



ICT教育

ICT教育がつながる「わかる」「できた」「楽しい」がもっとそばにある学び

今日の社会は、多くの分野でICT(情報通信技術)が活用されており、今後、その役割は一層重要になると予測されます。同志社小学校では、子どもたちがICTにふれることで学びを深め、未来の社会を切り拓く資質やスキルを養うことを大切にしています。



タブレット端末を使って調べたことや考えをまとめています。より相手に伝えるよう、図や表、手描きの絵などを用いて工夫することも、学びの「楽しさ」につながります。

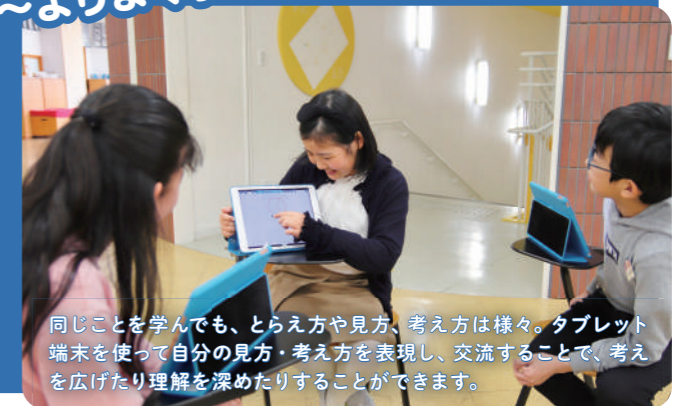


クラブ活動(プログラミングクラブ)では、プログラミングの思考を働かせた探究活動に取り組んでいます。IoT技術と暮らしがつながることを発見し、未来を見据える眼を育てています。

学校での学び
~よりよく学ぶ~



自分の調べたことや考えたことをより分かりやすく伝えるために、電子黒板を活用しています。みんなで、一つの教材を共有することも「わかる」「できた」につながります。



同じことを学んでも、とらえ方や見方、考え方は様々。タブレット端末を使って自分の見方・考え方を表現し、交流することで、考えを広げたり理解を深めたりすることができます。



1~6年生のすべての児童が、いつでもICT機器を活用することができます。



特別教室から配信することで全クラス一斉に授業することができます。(ゲストティーチャーの特別授業)

家庭での学び~学ぶ機会を確保する~



オンライン学習の様子

オンライン学習サイト

オンライン学習サイトを開設しており、学校外でも学びを進めることができます。休校期間中は、学習サイトに1週間の学習予定表や教員作成学習動画を配信したり、オンライン学習システムを活用したりして遠隔授業を行っています。

各教科の動画

ICT教育について

学びの中で、ICT機器の効果的な活用を推進しています。全ての教室で無線LANが使用でき、児童はタブレットやノートパソコンをはじめ、目的にあわせてICT機器を利用し学習を進めています。学びの過程において、機器の正しい使い方を習得すると同時に、情報

への接し方やその扱い方(情報モラル)についても学びを深めます。プログラミング教育においても、そのプロセスを早い段階で学び、その性質を理解し、活用する資質を児童が身につけることを目標としています。将来、ICT環境の急速な進展に流されることなく、社会を幅広い視点で理解し、行動できる人となることを願っています。

特別授業

本物体験を通して感性を磨き、情熱をもって学ぶ楽しさを味わいます。

音楽

第一線で活躍するプロによるアウトリーチを行うなど、本物の音楽にふれる



フルート演奏者の鎌田邦裕氏による演奏を身近で体感

理科

わくわくする体験によって科学を楽しみ、深く学ぶ



STEAM 授業
アート作品「心臓ピクニック」を用いた、大阪芸術大学アートサイエンス学科 安藤英由樹教授との授業。



自由研究発表会
一人一台ずつのタブレットPCを効果的に使いながら研究発表を行っています。

図画工作

本物の芸術家から学ぶ



絵本作家・谷口智則氏による絵本の授業

体育

全学年がクラス対抗で行う、知力と体力を結集した競技



ロードグラスリレー

道草



平和学習 (5年生) 長崎市の爆心地への訪問や、ユネスコの平和の鐘を鳴らそうなどの活動を通じて平和とは何かを考え学習に取り組み、その実現を祈りました。

社会

地域の方々から学ぶ



(3年生) 京都市消防局の方によるデモンストレーション

家庭科

「プラスチックゴミをアップサイクルしよう！」



(6年生) カエルデザインのアクセサリデザイナー 川崎朱美子氏によるワークショップ

クラブ



5・6年生はクラブ活動として普通の授業ではできない様々な体験をしています。

SDGs

道草×SDGs= 世界の問題を自分ごととして考える



2021年4月より、京都ユネスコ協会とSDGs協働学習事業を実施しています。2022年度は、6年生の取り組みが新聞に掲載されました。

課外活動

放課後や休日を
利用した活動により、
子どもたち一人ひとりの
個性を伸ばします。

陸上スポーツ教室



4～6年生約150人が参加する陸上競技の放課後クラブ。すべてのスポーツのもととなる「走」の原点を見つめ、活動しています。

音楽活動



自分らしい自由な表現を大切にしています。ミニオーケストラは1年を通して、Kids' Choirは1学期に、聖歌隊は2学期に、ミュージカル活動は3学期に活動しています。

自然学習

学校周辺の豊かな自然を活用したフィールドワークによって科学の芽を育てるプログラム



オオムラサキの授業

岩倉川の調査

岩倉川の清掃活動

自然を守るプロジェクト

ラクロス体験教室



ラクロス競技の楽しさを一から学ぶことで、チームプレイの大切さや競技の楽しさなど多くの発見につながります。



7:50
登校

8:30
礼拝

1日の流れ

小学校での日々の生活を、
ある日の1年生を例に紹介します。

8:45
朝の会

9:40
2限目

8:55
1限目

10:40
3限目

11:25
4限目

13:10
そうじ

13:30
5限目

12:05
給食

14:15
6限目

15:00
帰りの会

15:15
下校

学校行事

一瞬一瞬が笑顔と成長につながる日々。
同志社小学校には、生きる力へとつながる多彩な学校行事があります。

友達との交流 それは小学校においてかけがえのない大切な学び

感染拡大防止の観点を第一に、常に児童の学びを大切に学校行事を再検討し、
形を変えるなど、工夫をしながら実施しています。

<p>4</p> <p>始業式 入学式 授業参観・懇談会 入学おめでとうの会 ワイルドローパー結団式 なかよし遠足 校祖墓参</p>		<p>9</p> <p>始業式 授業参観・懇談会 外部講師を招いた特別礼拝 国際交流ウィーク</p>	
<p>5</p> <p>良心探求（ハーモニー） ウィーク 花の日礼拝</p>		<p>10</p> <p>スポーツフェスティバル ハロウィンパレード 4年生宿泊体験学習 5年生宿泊体験学習</p>	
<p>6</p> <p>修学旅行</p>		<p>11</p> <p>収穫感謝礼拝 クリスマスツリー点灯式 良心探求（ピース）ウィーク 創立記念礼拝 読書週間</p>	
<p>7</p> <p>個人懇談 終業式 水泳教室 プログラミング教室 自由研究相談会</p>		<p>12</p> <p>クリスマス礼拝・祝会 終業式 個人懇談</p>	
<p>8</p> <p>自由研究相談会</p>		<p>1</p> <p>始業式 創立者永眠記念礼拝</p>	
<p>2</p> <p>授業参観・懇談会 留学生ウィーク 1年生同志社幼稚園との 交流会 6年生法教育 6年生ポスターセッション</p>		<p>2</p> <p>授業参観・懇談会 留学生ウィーク 1年生同志社幼稚園との 交流会 6年生法教育 6年生ポスターセッション</p>	
<p>3</p> <p>ワイルドローパー解団式 卒業記念礼拝 卒業おめでとうの会 卒業式 修了式</p>		<p>3</p> <p>ワイルドローパー解団式 卒業記念礼拝 卒業おめでとうの会 卒業式 修了式</p>	

PickUP 行事

スポーツフェスティバル

種目や応援を工夫して、チャレンジ!



修学旅行

北海道へ3泊4日。函館では同志社のルーツをたどり、ルスツや洞爺湖などの大自然やアイヌ文化にも触れることができました。



同志社の一貫教育

一人ひとりを見つめ、個性と能力を豊かに伸ばす

同志社の一貫教育は、「良心教育」を建学の精神として、「キリスト教主義」、「自由主義」、「国際主義」を教育理念に掲げ、法人内各学校において、それぞれの発達段階に即した知徳体の全人格教育を粘り強く展開することによって、良心を手腕に運用する人物、つまり自治・自立の精神にあふれ、博愛精神に富み、個人の尊厳を重んずる人物、モラルに強い、高潔な人格を有する人物、そして国際社会で創造的な活動のできる人物を育成することを目的としています。同志社小学校からは、児童や保護者の希望に基づき同志社中学校、同志社香里中学校、同志社女子中学校、同志社国際中学校へ推薦によって進学する道が開かれています。



明心会 同志社小学校のサポートと会員相互の親睦を目的とする保護者会

保護者サークル	課外サークル
文化サークル (聖書・キリスト教に触れる会) —— 「虹の集い」	DJRC —— 「同志社ジュニアラグビーフットボールクラブ」
音楽サークル —— 「カタルバ」	DJTC —— 「同志社ジュニアテニスクラブ」
スポーツサークル —— 「ワイルドローバー」	

保護者の声 [明心会 会長メッセージ]

明心会会長 大岩 英記

同志社では、一人ひとりの個性と能力に応じた推薦進学制度を充実させ、幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学・大学院まで、一貫教育を実現しています。同志社小学校からは、本人や保護者の希望に基づいて、同志社中学校、同志社香里中学校、同志社女子中学校、同志社国際中学校へ推薦によって進学する道が開かれています。

同志社小学校では、同志社建学の精神でもある「良心教育」を軸に、一貫校ならではの教育がおこなわれています。校歌にも「えらい人になるよりも、よい人間になりたいな」という歌詞がある様に、子供が持っている感性を最大限引き出し、人を愛すること、自然を大切にすること、勇気を持ってチャレンジすることなど、人間として本質的に大切な部分を、同志社小学校ならではのキリスト教や道草教育を通して、先生方が優しく、丁寧に教えてくださいます。学校に行けば、子供たちがいつも明るく元気に話しかけてくれ、良い意味での「子供らしさ」を体感させてもらい、元気をもらっています。明心会役員一同、先生方と協力し、全てのお子様達が安心安全に、そして、生き生き楽しい学校生活が送れる様に尽力して参りたいと思います。



同志社の連携プログラム

同志社における連携教育により幅広い学びを実現します

2つの大学・大学院、4つの中学校・高等学校、2つの小学校、幼稚園およびインターナショナルスクールを併せ持つ総合学園である学校法人同志社。そのメリットを最大限に生かし、同志社小学校では各学校と連携した教育プログラムを実施。幅広い教育活動を実現しています。

幼・小・中・高 全同志社 連携プログラム

同志社英語大会 (立石杯)



2015年度から始まった、幼稚園と小・中・高合わせて7つのすべての学校が参加する、法人主催の英語大会です。2学期にはプレゼンテーション大会、3学期には暗唱・弁論大会が行われ、他者の前で発表を行うことを通して、相手に伝わりやすい、実践的な英語力の向上を目指しています。

幼稚園 連携プログラム

幼稚園との交流会



1年生が幼稚園の年長さんを招待して交流をしています。道草研究で調べた昔遊びを、わかりやすく伝えて一緒に遊んだり、一緒に給食を食べたりしながら小学校の生活を紹介します。小学校の中では最年少の1年生ですが、2年生への進級を前に、先輩としての心の準備を整え、1年間で大きく成長したことを実感することのできる行事です。

中学校・高等学校 連携プログラム

天体観望会



毎年4年生の理科の特別授業として、同志社中学校・高等学校の天体ドームでの天体観望会を実施しています。同志社中学校・高等学校の先生や地学部OB・OGの方の指導のもと行う野外活動は忘れられない貴重な体験です。

岩倉キャンパスクリスマス



毎年12月に同志社中学校・高等学校と合同でクリスマス礼拝を行います。在校生や保護者はもちろんのこと、近隣の住民の皆様にもお越しいただき心温まるひと時を過ごす、恒例行事です。

ようこそ先輩



同志社中学校の先輩たちを招いて課外活動で交流をしたり、中学校生活を紹介していただいています。英語クラブによる英語の本の読み聞かせ、聖歌隊合同練習など、いろいろな場面で親身になって語りかけてくれる先輩たちの言葉が心に深く残る貴重な機会です。

大学 連携プログラム

法教育



ロースクールの先生方と大学院生の方に協力いただき、6年生を対象とした、模擬法廷体験を実施。本物の法廷と同様の施設で裁判の様子を体験し、弁護士や裁判官、裁判員になったつもりで真剣に考え、討論します。「小学生のための刑事裁判入門」として、毎年実施しています。

サイエンスキャンプ



同志社大学理工学部において開催するサイエンスキャンプ。6年生が参加し、さまざまな最先端の科学を思う存分楽しむことができる貴重な機会です。電磁気学、エネルギー変換技術、電子顕微鏡、自動車のエンジン開発、火薬ロケット作りなどバラエティーに富んだ内容のプログラムを体験します。

フォーミュラーカー大研究



同志社大学機械研究会をお招きして行う特別授業。学生が作製した本物のフォーミュラーカーを小学校へ運び入れ、運動場でエンジンの仕組みやスピードを上げる工夫などについて学び、走行実験に取り組みます。大学教授と学生の方から「ものづくり」や「科学研究」のヒントをたくさん教えていただき、夏休みの自由研究へつなげます。

卒業生からの メッセージ

卒業後も続く 同志社小学校からの学び

同志社小学校での6年間を通して、自分らしさを大切にし、挑み続けることの意義を学んだ卒業生たち。

学んだ知識や習得したスキルを発揮しながら、中学校、高校、大学、そして社会とそれぞれのフィールドで活躍しています。



先生と嬉し泣きした大文字駅伝
同志社小の先生になることも夢の一つ

田中 美愛さん

同志社女子高等学校 1年生[2019年度卒業]

小学生から続けているフィギュアスケートと高校での勉強を両立できるよう頑張っています。同志社女子のみんなはすごく勉強するので大変です(笑)。同志社小学校での一番の思い出は6年生の時の大文字駅伝です。きつい練習でしたが、すごく工夫された練習メニューで私たちを伸ばそうという先生の本気が伝わってきました。そして、ゴールした後は先生と一緒に嬉し泣き…。将来は、同志社大学のスポーツ健康科学部に進学してスポーツに関わる仕事に就きたいと考えていますが、同志社小学校の体育の先生になって帰ってくるのもいいなと思っています。



小学校での経験から生まれた
私のキャプテンシー

平井 花林さん

同志社大学 生命医科学部4年
同志社大学大学院生命医学研究科へ進学予定[2013年度卒業]

同志社小学校6年生の時、スポーツフェスティバルの実行委員を務めたことが印象に残っています。大学ではラクロスに打ち込み主将を務めましたが、小学校での経験が私にキャプテンシーが生まれたきっかけだったのかなと思います。また、自ら考え仲間と意見を交わすという小学校での学びが身についたことは、指導者がいないラクロス部を学生主体で運営していく上でも役に立ちました。そんな懐かしい小学校へ行き、ラクロスの魅力を子どもたちに伝える活動もとても楽しく、大学を卒業してもラクロスを続けながらたくさんの人と関わっていきたくと思っています。



小学校で培った行動力と主体性で
世界を舞台に活躍したい

大橋 陽一朗さん

大阪大学 外国語学部 4年[2012年度卒業]

自分とは異なる価値観や背景を持つ人と関わりながら、世界を舞台に活躍したいという思いがあり、大阪大学外国語学部へ進みました。その中で、多様な民族、宗教、言語を持つ人々が共生するインドネシアに強い興味を持ち、留学を決意。現地の学生だけでなく、他国からの留学生など多様な人々との交流は刺激的でした。ある村で長期にわたって生活を共にしながら研究する参与観察では、言語や文化の違いなどを乗り越え、彼らとteman-teman(友達)に。同志社小学校での、子どもの自由を尊重し、自立して考えるよう促す学びが、行動力や主体性として今の私に活きているように感じます。



西村 希望さん

大阪大学 外国語学部 4年
外務省 内定
[2012年度卒業]

幼い頃、米国の多文化社会の中で生まれ育った経験から、日本人と外国人の両方の役に立てる仕事をしたいと思っていました。そんな中、ロシアによるウクライナ軍事侵攻が起り、避難民の方と関わりを持ったことから、どうすれば戦争を防ぎ国際平和を実現できるのかを考えるようになり、難民研究を専門としました。ほかに3カ国語の学習や国際法研究会での活動、インターンシップ、学外では会社の運営に携わるなど大変でしたが、本当に充実した学生生活を送ることができました。卒業後は、外交官として日本国の平和と国際社会の安定に貢献したいと思います。

戦争難民との関わりから
国際平和への貢献を夢に
外交官の道へ



真正面から
向き合ってくれた先生
同志社小学校での
成長に感謝

泉 勇太朗さん

同志社大学 スポーツ健康科学部 4年
大手航空会社 内定
[2013年度卒業]

小学生からアメリカンフットボールを続けてきて、高校ではU-18日本代表に選出され、大学では主将として日本一を目標に仲間たちを鼓舞し、切磋琢磨することができました。卒業後の進路は大手航空会社のパイロットです。安全という大きな目標へ、運航を支える多くのスタッフとチームとなって向かっていくのはアメフトとよく似た側面を持つ職業だと思っています。こんな私ですが、同志社小学校ではとにかく落とし物や忘れ物が多い問題児でした(笑)。それでも先生は真正面から向き合ってくれて、最後まで熱心に関わってくださいました。同志社小学校で成長できたことに、今は感謝しかありません。



人才の養成より人物の養成

同志社小学校 校長 野田 遊

人才の養成より人物の養成。これは、同志社小学校が実践している新島襄の考え方に基づく教育です。知識の習得は教育の基本です。ただし、知識を運用する品行と精神の徳育があつてはじめて社会のためになるという発想です。保身と前例踏襲に陥る人材（人才）ではなく、クリエイティブな発想で社会を担う人物の養成を重視しています。毎朝の礼拝やグローバルな交流、内なる声との対話を通じて、良心が涵養される教育を進めています。

本校の道草教育は、主体性を伸ばす場を数多く提供し、実行力、思考力、創造力、公共性といった非認知能力を存分に育てています。偏差値で競う認知能力は重要なものです。ところが、注目すべきは、実行力に代表される非認知能力が十分に備わると、認知能力そのものがいっそう向上することです。高学歴は、認知能力の訓練だけで手に入れますが、実行力や創造力は小学生時代のリアリティ豊かな体験による脳の発達が不可欠です。社会で活躍する人たちは、実行力などの非認知能力に長けていることが多く、そうした人たちは小学生時代の経験が生きているわけです。なお、非認知能力の中には道徳や模範意識も含まれますので、道草教育は徳育にも通じるものです。

本校では、見せかけの偉さよりも社会を担う実力者の養成を念頭においた教育を進めています。「えらい人になるよりも、よい人間になりたいな」という校歌に含まれるメッセージは、そのことを問いかけています。今後とも本校の教育を経た卒業生が率先して豊かな社会をつくり上げていくことを期待しています。

同志社小学校へのアクセス



登下校の安全管理について

ICタグによる安全管理

子どもたちの登下校安全確保の一環として、登下校安全システムを導入しています。ICタグを所持した児童が登下校時に校門および叡山電車岩倉駅を通過した際、保護者の携帯電話やPC等のメールアドレスへメールが配信されるシステムです。

登下校路は敷地内

登下校時に、最寄り駅から校門までの通学路において、交通量の多い交差点の6カ所に交通指導員を配置し、児童の安全を確保しています。学期初めなど、年間を通して、定期的に、教職員も電車内、最寄り駅での登下校指導を行います。



学校法人同志社
総長・理事長
八田 英二

わが国の私学はそれぞれ独自の教育活動を展開しています。そして同志社の教育活動は新島襄のキリスト教主義教育思想に根差しています。早稲田の創立者大隈重信侯は明治年間の功労顕著なる教育者として、新島襄と福沢諭吉の名を挙げ、「福沢先生は大いなる常識を備へて西洋の物質的智識の教育を施し、独立自尊の倫理を説き且つ実行した人なるが、新島先生は又之と趣を異にし、キリスト教主義の精神的教育を施し、生命あり活気あり真理を重じ主義を重ずる人物を作るを目的とせられたり」と評しています。建学の精神を高く掲げ、これからも同志社は一貫教育体制のもと一国の良心ともいべき人物の育成に努めてまいります。



同志社大学
学長
小原 克博

小学校での学びや人間関係は、後の人生におけるさらなる成長の基盤となります。自分の頭で考え、判断し、行動することのできる「自治自立の精神」や、他者に対する関心や気遣いといった利他的精神は、自分自身の人生を切り拓き、これからの社会を担っていく上で欠くことができません。こうした心のあり方を日々の生活の中で育てていくことのできる環境が同志社小学校にはあります。

同志社の設立者・新島襄は、自由を大切にし、自らも自由人として生きた人物です。しかし、その自由は、わがままな自己主張ではありません。自らを省みる視点（良心や真理）を内に秘め、他者へと手を差し伸べることのできる自由です。

同志社は、このように新島によって示された未完の課題とも言える壮大な人間教育に挑戦し続けてきました。同志社小学校はそのフロントランナーと言えるでしょう。同志社小学校に連なるお一人おひとりの成長を教職員一同、見守っています。

「良心を手腕に運用できる人物」を育成する、同志社の教育

自由主義の学校、同志社。しかし、この自由はキリスト教に基づく「良心」が根源になければなりません。同志社小学校では、一人ひとりの児童を大切に、自由な発想で社会に貢献することのできる人物を育てていきます。

同志社小学校 制定品



同志社リュック [通学かばん]

高学年用(右)については、4年生以上の希望者が使用できます。



同志社小学校オリジナル キャラクター べんけいくん

「弁慶」という名の新島襄の愛犬、ビーグル犬。私たち一人ひとりを見守る「番犬」をイメージ。



説明会の詳しい情報はwebサイトを御覧ください。

同志社小学校 検索 www.doshisha-ele.ed.jp

メールマガジン「Ben-Kクラブ」
入試に関連した情報や、学校の様子をメールにてご案内いたします。ぜひご登録ください。